

# ダラジ駐日チュニジア大使が御坊を初訪問

カイス・ダラジ駐日チュニジア共和国大使館特命全権大使が、7月17日に御坊を初めて訪問した。御坊市藤田町吉田、造園等を手がける松樹園の林弘一代表が、チュニジアにソメイヨシノの苗木を寄贈するプロジェクトの中心的役割を果たしたことがきっかけで来坊が実現。サクラから始まった民間交流が国際交流に発展する機会となった。ダラジ大使は道成寺を見学したあと北吉田の舞妃蓮の郷はす公園で記念植樹を行い、これからも交流を続けていく考えを示した。来坊した様子をレンズで追った。

紀州てまりをプレゼント



はす公園でチュニジア国旗の小旗を振って歓迎する住民



2015年に着任したダラジ駐日大使はサクラに強い興味をもち、2年ほど前から「ゼビチュニア」に植栽したいと知人である東京の「インテリナーショナルグループ」代表の杉山敬三さんに相談。杉山さんは苗木等の調達方法などを吉田からの知人である田辺市の中野さん(仮)に相談した。中原さんは数年前、田辺市の気絶峡にライオンズクラブがサクラを植樹した地方新聞の記事で、御坊市の松樹園

佐竹会長の案内ではす公園を見学したあと、記念植樹するダラジ駐日大使  
が携わっていたことを覚えていたことから、林さんに依頼することにした。林さんは突然の依頼を快諾。植栽についての技術的なアドバイスをしたり、苗木を豊富に生産している紀の川市の桃山町苗木組合に連絡して約200本を調達

## 舞妃蓮の郷はす公園でアオダモとナツツバキを記念植樹



はす公園を見学するダラジ大使

するなど奔走し、1年前は書類の不備で送れず、こと3月、2年越しでチュニジアへの移送が実現した。8月にはチュニジアの技術

者が来県し、林さんの指導で栽培技術を学ぶことになっている。植樹は気候的に12月から来年2月の間で行う予定で、林さんも現地に出発することを検討している。



はす公園の東屋「荷風亭」で佐竹会長(右)がダラジ駐日大使に舞妃蓮について説明した

## 松樹園の林代表が架け橋



はす公園で記念植樹した(右が林代表)

## 道成寺見学、絵解き説法も



道成寺本堂前で記念撮影する関係者

友好をこれからも長く続けていきたい」とあいさつした。佐竹会長は「大使が民間の公園に来ていただくなでますないことで、植樹までしていただいて大変光栄。地域の発展につながってほしい」と。林さんは「民間主体で進めたことが、このように大きく発展し、地元の方々と触れ合ってくれたことがうれい」と笑顔で話していた。

地域住民が国旗の小旗を振って歓迎

サクラが縁で国際交流に発展